

8月

新着図書

#台所のあるところ

著者名： 原田 ひ香
出版社： 文藝春秋

直木賞
候補作

2人の子供が巣立ち、定年を迎えた夫は長年望んでいた仕事のため海外へ。広い家にひとり残された主婦は、15年前、越してきた日に購入を諦めたステンレス製の両開き大型冷蔵庫を迎え入れるべく、家電量販店を目指す。今度こそ、自分が本当に欲しい冷蔵庫を手に入れるため……。 (ままならないキッチン、ままならない人生)

昔から「内藤」と「鈴木」姓の人間しか住まず、たがいに反目し合い、口すら利かない風習の島に嫁いだ女性を待ち受けていた運命は？ (冷凍庫冷蔵庫合わせて五台)

食べ盛りで生意気な4人の子供を育てるシングルマザーの台所には、常に油をなみなみ張った中華鍋が鎮座している。(毎日、揚げもの)
……世代も境遇もバラバラの5人の女性たちの前には、30分の深夜ドラマ「台所のあるところ」があった。

王国

著者名： 湊かなえ
出版社： マガジンハウス

白珠湾の海を守るー生まれ故郷の海を愛する母と、国際協力事業団で海を守る仕事に就く父を見て育った
浜崎朔也は海洋学部で学び旅行代理店を経て、満を持して
ウェルネス・ツーリズムの会社「海の王国」を興した。
幼い頃からの夢がようやく形になりかけた矢先、悲劇が起きる。

永遠の記憶

著者名： 東野 圭吾
出版社： 文藝春秋

ガリレオシリーズ、待望の最新長編！
内海薫が刺された。
犯人は70歳ほどの老人。飛び降り自殺を図るも失敗し、
取り調べには黙秘を貫く。
やがて内海に恨みを抱く若い娘が捜査線上に浮かぶが、
老人との関係は不明。それどころか、内海への本当の復讐はこれからだった。
彼女が迫った「究極の選択」とは一体――。
一方、湯川と草薙は、老人の“ある持ち物”を手掛かりに、
「忘れてはいけない謎」の扉を開く。

シリーズ最新、最高峰の謎がいま明かされる。

けんぐわい

著者名： 朝倉かすみ
出版社： 光文社

直木賞
受賞作

利発だが酷い痘痕の姉ふゆ。逆上せ癖で縹緞よしの妹りよ。幼くして父を亡くし、ふゆは手習師匠の手伝いに、りよは船宿の下女奉公に出された。師匠の養子で禍々しいほどに歪んだ性癖をもつ宗三郎から手籠めにされたふゆは懐妊するが、現人神と崇められる女医者とは逢い、彼女の人生は大きく変わっていく。

自我に目覚めた主人公が、女の生と向き合う、時代小説の新しい扉！

島の博物事典

著者名： 加藤庸二
出版社： 成山堂書店

日本の島々とその歴史や文化、自然などについておよそ880項目が、50音順に掲載。収録されている島は著者自ら取材したものばかり。軍艦島や西之島、DASH島など、約580もの島を紹介。

パルティータを鳴らすまで

著者名： せやま南天
出版社： 朝日新聞出版

幼い日に実の母と離れ、弦楽器職人の里父のもとで育った中学2年生の時本拓実。10年の委託期間を終え、実母の家へ戻る時間が迫っている。音楽が導く、里親との別れの半年を描いた愛の物語。note主催「創作大賞2023」受賞後第一作！